

第 5 章 基本的な方針

5.1 目指す将来像

○第2次五泉市総合計画をはじめとした上位・関連計画の内容を踏まえ、本計画における将来像を以下のように設定します。

【第2次五泉市総合計画】

【将来像】

ずっと五泉。～次の一步を、ともに未来へ～

【基本政策】

五つの泉 ～五つの泉わき出す 愛せるまち～

1. いきいきの泉 ～笑顔あふれる いきいきのまち～
2. 安心の泉 ～信頼あふれる 安心のまち～
3. ふれあいの泉 ～交流あふれる ふれあい豊かなまち～
4. 活気の泉 ～賑わいあふれる 元気あるまち～
5. 快適の泉 ～潤いあふれる 快適なまち～



【目指す将来像】

いつまでも安心・快適に移動できるまち・五泉

“いきいきと生活できる移動手段” “安心して生活できる移動手段” “交流を支援する移動手段” “賑わいを作り上げる移動手段” “快適に生活できる移動手段”として、これまで市民や五泉を訪れた人の移動を確保してきた公共交通をこれからも守り続け、将来にわたり安心して快適に生活ができる移動手段の維持・確保を目指します。

【公共交通が担う役割】

- ・商業施設や医療機関、学校などが五泉市街地や村松市街地に集中していることから、この2つの拠点まで円滑に移動することを可能とする役割を担うものとします。
- ・また、市内の移動だけではなく、新潟市など市外への移動ニーズも高いことから、市内外へ安心して移動することを可能とする役割も担います。

5.2 公共交通の活性化および再生に向けた取組の方向性

①既存の公共交通ネットワークの維持

- ・既存の公共交通は、市内と市外を結ぶ公共交通（鉄道、高速バス、路線バス、加茂市営市民バス）、市内の五泉地域と村松地域を結ぶ公共交通（ふれあいバス）、五泉地域・村松地域の各地域内を移動する公共交通（さくら号）、それら以外の移動に対応するタクシーで形成されています。これは、各公共交通の役割が明確になっていることで公共交通空白地区を無くし、市内のどこに住んでいても移動できる公共交通ネットワークを形成しており、交通弱者の移動手段を確保する上で今後も維持する必要があります。

②土地利用の変化に対応した公共交通の見直し

- ・五泉市では、今後も（都）東南環状線などの道路整備や複合施設の開設、さらにはその沿線開発など、道路網や土地利用の変化が生じます。その変化やそこへの移動ニーズに対応するため、公共交通網を見直す必要があります。

③さくら号の運行内容の再検討

- ・五泉地域、村松地域の各地域内を移動する さくら号は、分散している集落の移動ニーズに対応し、自宅等から目的地まで移動する高齢者等にとって利便性の高い公共交通です。そのため、利用や予約が集中する時間帯にお断りを減らすべく、運行時間や運行台数などの運行内容を再検討する必要があります。

④興味・関心を持ってもらう工夫

- ・行先や利用方法がわからないため、公共交通を利用していない人がいます。そのため、運行内容や利用方法などの周知方法を見直すとともに、公共交通に興味・関心を持ってもらう工夫が必要です。

5.3 計画の目標

○これまで整理した方向性を実現するために、本計画では以下の3つの目標を設定しました。

①市外への移動ニーズに対応した公共交通の維持・確保

- ・通勤や通学、通院では、新潟市等の市外への移動ニーズも高いことから、五泉市と隣接市町村を結ぶ公共交通の維持・確保を図ります。

②市内の移動ニーズに対応した公共交通の運行

- ・五泉市では、公共交通の主な利用者である高齢者や高校生が、人口と同様に薄く広く分布（居住）しています。この分散した需要に対応する公共交通を維持・確保します。また、市内の土地利用、道路網の変化に対応した公共交通を運行します。

③公共交通の利用促進・利便性向上

- ・公共交通を維持・確保するため、運行内容を広く周知する利用促進や利用してもらえる環境整備、公共交通の利便性向上を図ります。

5.4 各交通手段の位置づけと役割

(1) 各交通手段の位置づけ

○以下に五泉市における各交通手段の位置づけと、目指す公共交通のすがたを示します。

■各交通手段の位置づけ

幹線	五泉市と新潟市・阿賀野市・阿賀町・福島県など、広域的な移動需要に対応する路線を幹線とします。
基幹路線	五泉市で人口・主要施設が集中している五泉市街地と村松市街地間を結ぶ路線を基幹路線とします。
支線	上記の幹線・基幹路線で対応できない各集落から地域の拠点である五泉市街地・村松市街地を結ぶ路線を支線とします。

■目指す公共交通のすがた

	公共交通のすがた	運行イメージ
幹線	○五泉市と他の自治体を連絡する路線 ○定時定路線の運行で、市外への通勤、通学、通院、買い物など、多様な目的に利用できる路線	○定時定路線 ○毎日運行を基本とするが、一部路線は平日のみ運行 ○距離制運賃
基幹路線	○五泉市街地と村松市街地を結ぶ路線 ○定時定路線の運行で、市内の通勤、通学、通院、買い物など、多様な目的に利用できる路線	○定時定路線 ○毎日運行 ○定額運賃
支線	○五泉地域・村松地域の各地域内を運行し、五泉市街地または村松市街地にアクセスすることができる路線 ○利用者のニーズに合わせ、自宅や目的地から指定場所まで運行し、市民生活の維持が可能となる路線	○区域運行 ○定額運賃

(2) 各交通手段の役割

○鉄道、高速バス、路線バス、加茂市営市民バスは都市間移動の役割を担い、ふれあいバス、さくら号は、市内での移動を支える役割を担います。

○上記の交通手段で対応できない市内の移動需要については、一般タクシー等がその役割を担うものとします。

表 各交通手段の位置づけと役割

交通手段	位置づけ				役割
	幹線	基幹路線	支線	その他(市全域)	
鉄道	○				・新潟市、阿賀町、福島県等との都市間移動を支える役割
高速バス	○				・新潟市との都市間移動を支える役割 ・主に鉄道駅の無い村松地域から新潟市までの移動を支える役割
路線バス	○				・新潟市(秋葉区)、阿賀野市等との都市間移動を支える役割(主に通学利用)
加茂市営市民バス	○				・加茂市と村松地域の都市間移動を支える役割 ・上記自治体へ乗り換え無しで移動ができる唯一の手段
ふれあいバス		○			・五泉市街地と村松市街地間を結ぶ役割 ・五泉市内において、通勤・通学、買い物、通院、観光など様々な利用目的に対応する。
さくら号			○		・郊外部から五泉市街地、村松市街地等への移動を支える役割
一般タクシー				○	・市内全域で高い移動サービスを提供し、比較的小規模な移動需要を支える役割

5.5 将来公共交通ネットワーク

○前述した内容を踏まえ、以下に五泉市の将来公共交通ネットワークを示します。

- ・五泉市街地と村松市街地を基幹路線が結び、各市街地と市外を幹線が結びます。周辺地域から各市街地へのアクセスを支線が担います。

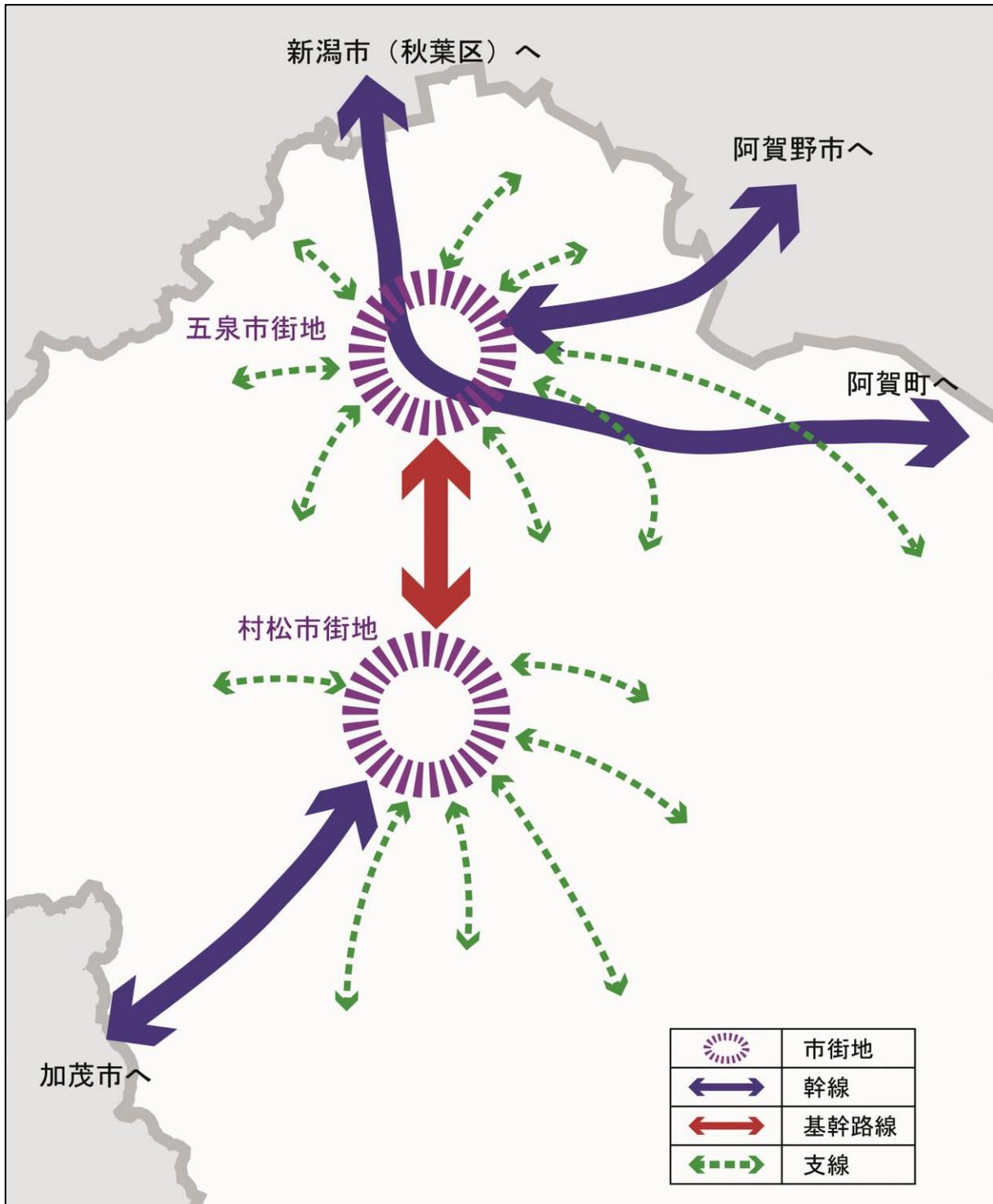


図 将来公共交通ネットワーク

5.6 五泉市地域公共交通網形成計画の体系

